

## 第4回吉見町立学校適正規模等検討委員会 次第

日 時：令和3年10月25日（月）

午後6時30分～

場 所：吉見町役場 3階 中会議室

1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 前回会議録の承認
4. 議 事
  - (1) 学校の適正規模・適正配置の検討について
  - (2) その他
5. その他
6. 閉 会

### 【配布資料一覧】

- (1) 第3回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録
- (2) あり方研究協議会の提言からの適正規模・適正配置について【資料1】
- (3) 吉見町立学校適正規模等検討委員会スケジュール【資料2】
- (4) 令和3年度児童生徒在席一覧表【資料3】
- (5) 小・中学校教職員用学校の適正規模や適正配置に関するアンケート調査結果【資料4】

# あり方研究協議会の提言からの適正規模・適正配置について

## 提言 1

- (1) 小学校は、各学年 **2 学級以上**が望ましい。
- (2) 中学校は、各学年 **3 学級以上**が望ましい。
- (3) 1 学級の人数は、**30 人以下**とすることが望ましい。

## 提言 2

- (1) 小学校の学校規模については、小学校同士の統合あるいは、小中一貫教育を実施することなどを検討する必要がある。
- (2) 児童数の減少が著しい小学校においては、早い時期の検討を開始することが望ましい。

## 提言 3

- (1) 学校施設は、安全・安心を最優先に、快適性・機能性・効率性等の観点から整備・充実することが望ましい。
- (2) 学校規模や学校配置を検討し、地域コミュニティ活動や防災対策の拠点等を含め、計画を作成することが望ましい。
- (3) 現在の老朽化した施設について、安全性等の観点から整備することが望ましい。

現状は . . .

- ◎ 町内の全小学校では、各学年 **1 学級**
- ◎ 中学校は、各学年 **4 学級**
- ◎ 小学校は、東一小の 3 年、西小の 6 年を除く全ての学級が **30 人以下**

- ◎ 小学校の児童数は、今後も減少する見込みであり、特に東二小及び西が丘小の児童数の減少は著しい

- ◎ 学校の配置は、東西南北を分ける地域コミュニティの中心であり、防災拠点としても重要視されている
- ◎ 小中学校の多くの校舎が昭和 40 年代から 50 年代に建築され、今後も使用するには大規模な改修が必要

### 【学校小規模化の影響】

#### ◇ 学校運営上の課題

- ・ クラス替えできず、人間関係が固定化
- ・ 集団行事の実施に制約
- ・ 部活動の種類が限定

#### ◆ 児童生徒への影響

- ・ 社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい
- ・ 切磋琢磨する環境の中で意欲や成長が引き出されにくい
- ・ 多様な物の見方や考え方に触れることが難しい

#### 【その他留意事項】

- ・ 小中一貫教育の導入
- ・ スクールバスの検討
- ・ 徒歩通学距離の目安
- ・ 施設整備の充実

## 検討 1

- ・ 小学校の児童数、学級数から、統合した際の学校数はいくつにするのか

## 検討 2

- ・ 統合し、どこに配置するのか

## 吉見町立学校適正規模等検討委員会スケジュール

年月日	件 名	摘 要
R3. 5. 1	検討委員会設置要綱施行	吉見町立学校適正規模等検討委員会設置要綱を施行。 委員は、識見者・地域住民代表・学校校長・保護者代表とし、14人以内で構成される。
R3. 7. 21	第1回 検討委員会開催	1. 委嘱状の交付 2. 委員長・副委員長の選出 3. 諮問書の提出 4. 議事
R3. 8. 20	第2回 検討委員会 (視察研修)	検討委員会委員による先進地視察 視察先：滑川町立月の輪小学校（滑川町）
R3. 9. 28	第3回 検討委員会 (学校見学)	東第一小学校・東第二小学校見学
R3. 10. 25	第4回 検討委員会	議事 ・学校の適正規模・適正配置の検討について ・2班に分かれ意見交換
R3. 11. 24	第5回 検討委員会	検討事項 ・小学校の適正規模・適正配置について ・通学区域・通学手段について ・スクールバス等、通学支援について ・保護者等への説明、意見交換について ・基本方針等の策定について
R3. 12	第6回 検討委員会 (答申案検討)	
R4. 1	第7回 検討委員会 (答申案検討)	
R4. 2	第8回 検討委員会 (答申)	・検討委員会から教育長へ答申

## 令和3年度 児童生徒在籍一覧表

令和3年9月30日

学校名		学年						小計	合計
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生		
東 一 小	通常学級人数	22	27	34	29	30	25	167	169
	特別支援学級人数	1	1					2	
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6	
東 二 小	通常学級人数	6	6	6	5	6	11	40	42
	特別支援学級人数			1	1			2	
	通常学級数	1		1		1	1	4	
南 小	通常学級人数	24	25	13	26	15	20	123	128
	特別支援学級人数	2			1	2		5	
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6	
西 小	通常学級人数	18	15	20	23	24	36	136	141
	特別支援学級人数		1	1	2	1		5	
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6	
北 小	通常学級人数	18	15	17	18	22	12	102	103
	特別支援学級人数			1				1	
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6	
西が丘小	通常学級人数	14	7	13	12	9	9	64	67
	特別支援学級人数				1	1	1	3	
	通常学級数	1	1	1	1	1	1	6	
小 計	通常学級人数	102	95	103	113	106	113	632	650
	特別支援学級人数	3	2	3	5	4	1	18	
	通常学級数	6	5	6	5	6	6	34	
吉 見 中	通常学級人数	114	124	123				361	366
	特別支援学級人数	2	3					5	
	通常学級数	4	4	4				12	
合 計	通常学級人数							993	1016
	特別支援学級人数							23	
	通常学級数							46	
未就学児	9月30日現在	R9新入学児 R2. 4. 2~R3. 4. 1	R8新入学児 H31. 4. 2~R2. 4. 1	R7新入学児 H30. 4. 2~H31. 4. 1	R6新入学児 H29. 4. 2~H30. 4. 1	R5新入学児 H28. 4. 2~H29. 4. 1	R4新入学児 H27. 4. 2~H28. 4. 1		合計
		64	84	76	87	95	95		501

※ 東二小の2・3年生及び4・5年生は、国の基準では複式学級ですが、県の加配等により単学級となっています。

小・中学校教職員用

学校の適正規模や適正配置に  
関するアンケート調査結果

令和3年（2021年）10月

吉見町教育委員会



## 小・中学校教職員アンケート調査

(1) 調査概要

本町の将来を担う子どもたちがより良い環境の中で教育が受けられるよう、今後の学校のあり方について調査研究をすすめるにあたり、町立小中学校の適正な学校規模や配置についての基礎資料とするため。

(2) 調査実施時期

令和3年8月

(3) 対象

町立小中学校の教職員

(4) 実施方法

・アンケート調査は小・中学校の教職員がインターネットを介し、クラウド上でアンケート調査を実施。

(5) 教職員アンケート調査状況一覧

別紙のとおり

## 教職員アンケート調査状況一覧

学校等名称	教職員数	回収数	回収率(%)	アンケート方法
東第一小学校 東第二小学校 南小学校 西小学校 北小学校 西が丘小学校 吉見中学校	110	109	99.1	クラウド



【小・中学校教職員用】令和3年 月 日

学校の適正規模や適正配置に関するアンケート調査ご協力をお願い

吉見町教育委員会

平素は、本町教育行政に格別のご理解、ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、本町では将来を担う子どもたちに、より良い教育環境を整備し、充実した学校教育を実現するため、町立小中学校の適正な学校規模や配置について検討を進めております。

この調査は、町立小中学校の適正な学校規模や配置についての基礎資料とするため、皆様のご協力をお願いするものです。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、各学校の状況を反映していただき、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、本調査と同内容のアンケートをすでに保護者向けに実施しており、その結果を含めた学校の適正規模についての情報が、「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書』として、町のホームページに掲載されておりますので、ご参照ください。

1 子どもたちにとって、学校の教育環境で大事なものはどのようなものとお考えですか。特に大事と思われるものを3つまで選び、○で囲んでください。

「ケ その他」をお選びの場合は、その内容をご記入ください。

ア. 校舎・設備などの環境

イ. 教師の指導力

ウ. 1学年あたりの学級数や1学級あたりの人数

エ. パソコンやタブレットなど情報教育に関わる環境

オ. 教材教具などの環境（エの項目を除く）

カ. 学校をとりまく自然環境

キ. 地域社会と連携できる地域の環境

ク. 安全・安心な生活ができる学級の環境

ケ. その他

.....

.....

.....

.....

.....

2 小学校の学級人数について

(1) 小学校の児童数は、法令※で1学級40人(1・2年生は35人)を標準としていますが、吉見町の子どもたちのより良い教育のためには、小学校の1学級あたりの人数は、どのくらいが望ましいと思いますか。

次のア～オの中から1つ選び、○で囲んでください。

※公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律  
小学校設置基準(文部科学省令)

- ア. 1学級あたり10人以下
- イ. 1学級あたり11人から20人
- ウ. 1学級あたり21人から30人
- エ. 1学級あたり31人から40人
- オ. わからない

(2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～ケの中から2つまで選び、○で囲んでください。

- ア. 切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である
- イ. 競争意識が生まれやすい環境である
- ウ. 多くの児童との交流が生まれる
- エ. 多様な学習形態で授業を展開できる
- オ. 大勢で様々な活動ができる
- カ. 先生が目が届きやすく、きめ細かな指導がしやすい
- キ. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ
- ク. ゆとりや安心感など、家庭的な中で勉強ができる
- ケ. その他、具体的にあればご記入ください。

.....  
.....  
.....  
.....  
.....

3 小学校の学級数（学校規模）について

- (1) 小学校の学級数は、法令※で1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準としていますが、吉見町の子どもたちのより良い教育のためには、小学校の学級数は、どのくらいが望ましいと思いますか。

次のア～エの中から1つ選び、○で囲んでください。

※学校教育法施行規則

- ア. 1学年あたり**1学級**
- イ. 1学年あたり**2～3学級**
- ウ. 1学年あたり**4学級以上**
- エ. **わからない**

- (2) (1)の回答を選んだ理由について、次のア～ケの中から2つまで選び、○で囲んでください。

- ア. クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる
- イ. 多様な考えに触れる機会が多い
- ウ. 様々な個性を持つ先生と出会える
- エ. PTA活動等において、保護者への負担が少ない
- オ. 学校行事で、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい
- カ. 学校施設や教具等が利用しやすい
- キ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる
- ク. 学年を越えた友達ができやすい
- ケ. その他、具体的にあればご記入ください。

.....

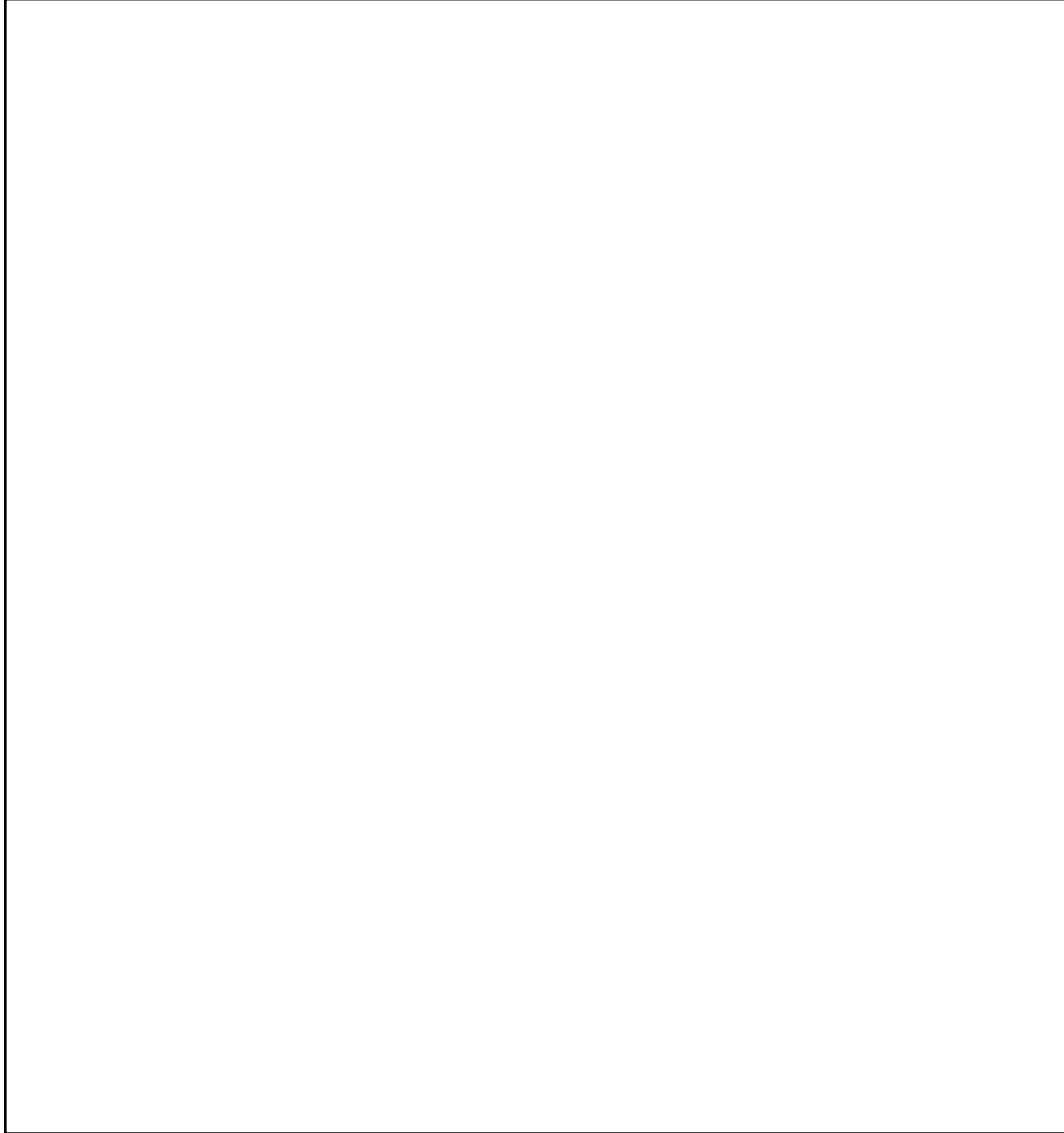
.....

.....

.....

.....

- 4 吉見町では、将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、学校のあり方に関して調査研究をしています。皆様のご意見があればお聞かせください。

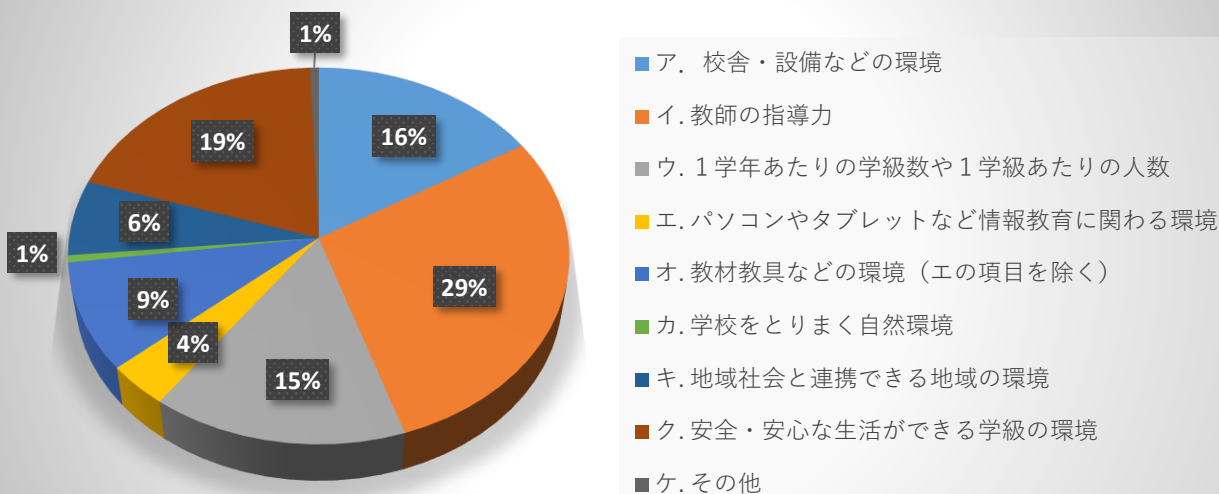


## アンケート調査結果（小学校・中学校 合計）

### 1 子どもにとっての学校の教育環境で大事なものについて。（3つまで回答）

選択内容	人数
ア. 校舎・設備などの環境	53
イ. 教師の指導力	93
ウ. 1学年あたりの学級数や1学級あたりの人数	49
エ. パソコンやタブレットなど情報教育に関わる環境	12
オ. 教材教具などの環境（エの項目を除く）	30
カ. 学校をとりまく自然環境	2
キ. 地域社会と連携できる地域の環境	21
ク. 安全・安心な生活ができる学級の環境	63
ケ. その他	2

### 1 子どもにとっての学校の教育環境で大事なものについて（3つまで回答）



#### ○その他の内容

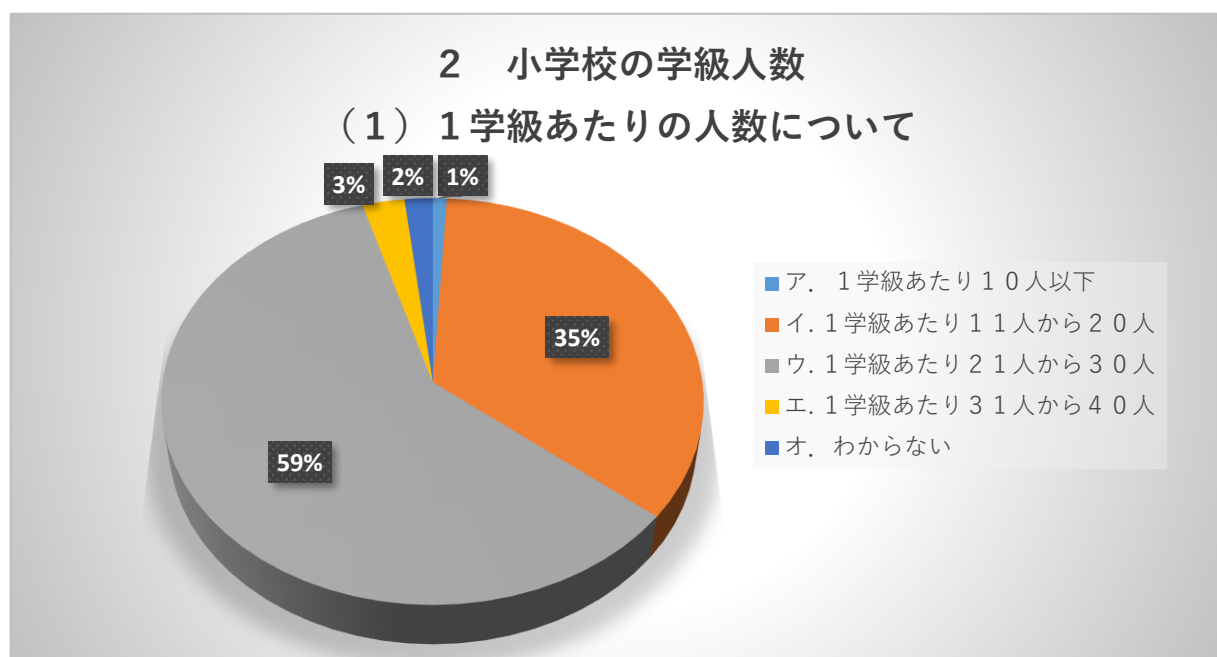
- ・授業や生徒指導などありとあらゆるところで、学校という組織としての柔軟な思考と対応。
- ・学校の設備や環境ももちろん大事だが、システムの方が大切。生徒が自主的に校則を決めたり、教員は教科だけを教えてホームルームは時給の支援員を雇うなどして出来るだけ多くの大人の中で育てるなどさまざまなアプローチがある。どん

な生徒を育てたいか、そのためには何が必要かを明確化することが必要であると考える。

## 2 小学校の学級人数

### (1) 1学級あたりの人数について

選択内容	人数
ア. 1学級あたり10人以下	1
イ. 1学級あたり11人から20人	38
ウ. 1学級あたり21人から30人	65
エ. 1学級あたり31人から40人	3
オ. わからない	2

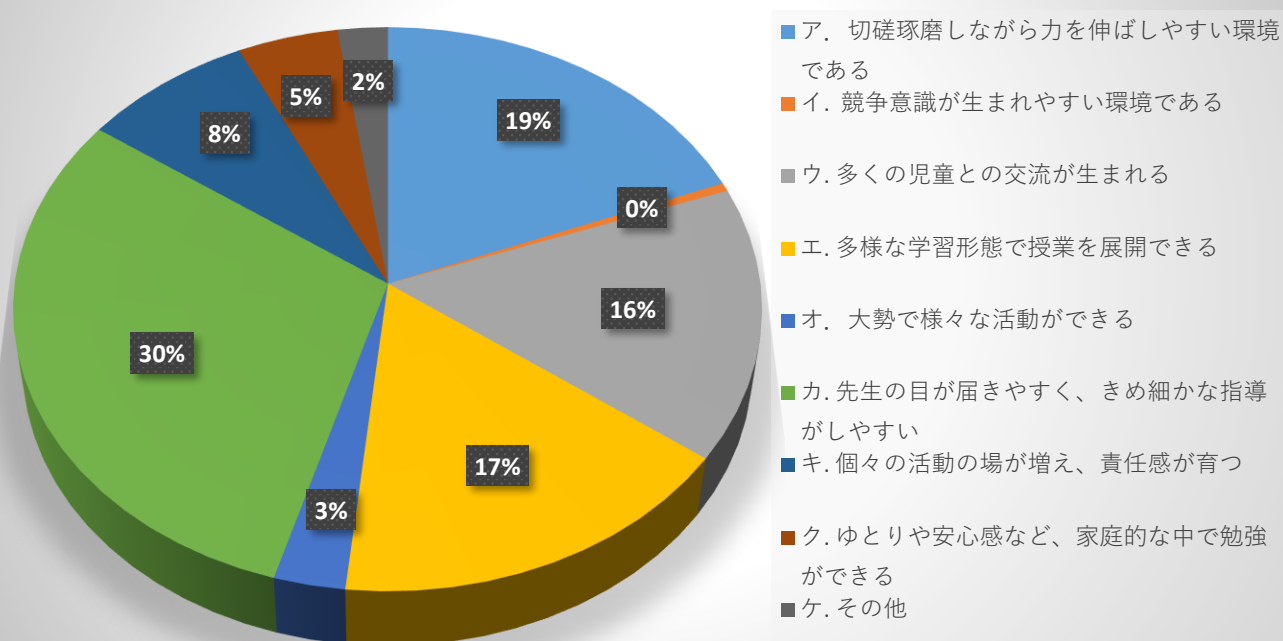


(2) (1) で回答を選んだ理由について

選択内容	人数
ア. 切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である	40
イ. 競争意識が生まれやすい環境である	1
ウ. 多くの児童との交流が生まれる	33
エ. 多様な学習形態で授業を展開できる	35
オ. 大勢で様々な活動ができる	6
カ. 先生が目が届きやすく、きめ細かな指導がしやすい	64
キ. 個々の活動の場が増え、責任感が育つ	17
ク. ゆとりや安心感など、家庭的な中で勉強ができる	10
ケ. その他	5

### 3 小学校の学級人数

(2) (1) で回答を選んだ理由について



○その他の内容

- ・適切な人数はその時の実態によって変わる。



- ・クラスの仕事数が40だと足りず所属感が生まれにくい。
- ・学力ごとにクラスを分ければ教員が理解度に合わせた説明やサポートが可能。生徒の数が多ければ多いほど授業内での発言、活躍できる生徒に限られる。発言して、その発言が認められることは自己肯定感を上げることにも繋がるので、できるだけ少ない生徒でディスカッションや発表など行いたい。
- ・教員に余裕が生まれ、クリエイティブな発想で授業準備や学級経営に臨める。
- ・「ウ」と重なるが、子どもたちが社会に出ていくにあたり、多勢の中で自分がどのような役割を果たせるのかを知っておくことは極めて重要だと思うから。

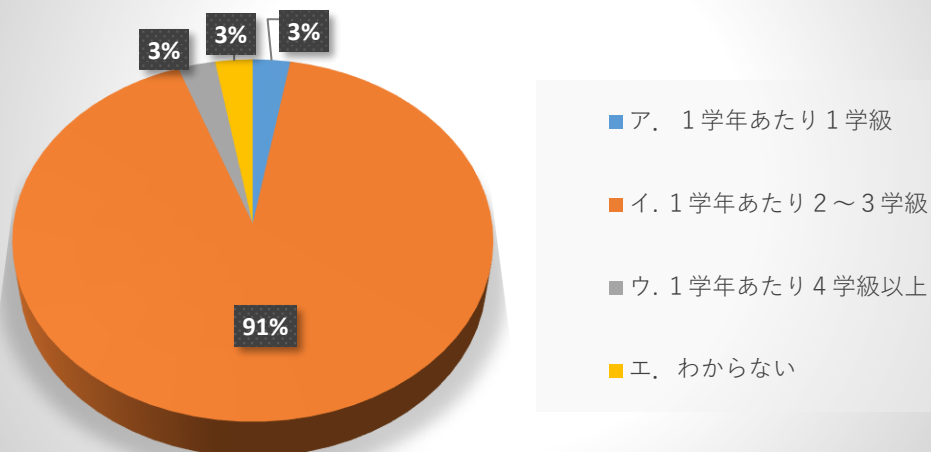
### 3 小学校の学級数（学校規模）

#### (1) 小学校の学級数について

選択内容	人数
ア. 1学年あたり1学級	3
イ. 1学年あたり2～3学級	100
ウ. 1学年あたり4学級以上	3
エ. わからない	3

### 4 小学校の学級数（学校規模）

#### (1) 小学校の学級数について

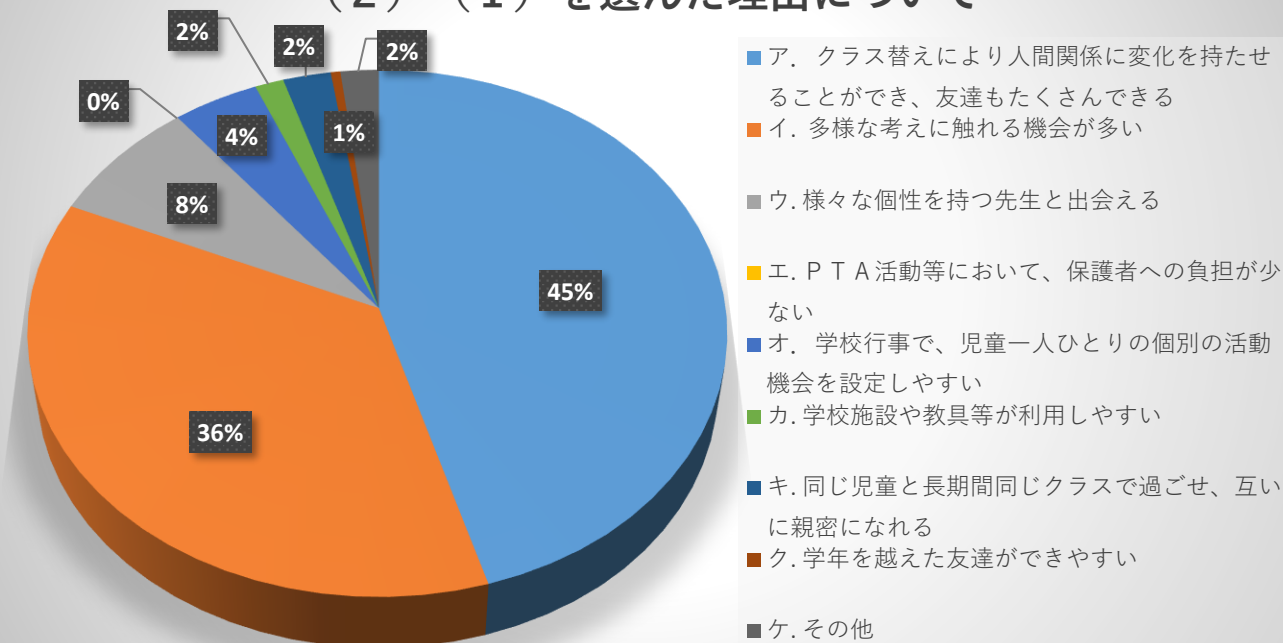


(2) (1)の回答を選んだ理由について

選択内容	人数
ア. クラス替えにより人間関係に変化を持たせることができ、友達もたくさんできる	94
イ. 多様な考えに触れる機会が多い	75
ウ. 様々な個性を持つ先生と出会える	16
エ. P T A活動等において、保護者への負担が少ない	0
オ. 学校行事で、児童一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい	9
カ. 学校施設や教具等が利用しやすい	3
キ. 同じ児童と長期間同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる	5
ク. 学年を越えた友達ができやすい	1
ケ. その他	4

#### 4 小学校の学級数（学校規模）

##### (2) (1) を選んだ理由について



○その他の内容

- ・適切な学級数はその時の実態によって変わる。

- ・人数が少なく、2クラスにできないから。
- ・教員の負担軽減。
- ・中学校と小学校のギャップを縮めるため。

4 吉見町では、将来を担う子どもたちにとって望ましい教育環境を整備するため、学校のあり方に関して調査研究をしています。皆様のご意見があればお聞かせください。

#### 【東一小】

- 学校は地元地域の皆様の協力、愛情があって成り立っています。児童生徒の学びの場としても、町民の皆様にとっても、誰もが大切な場所と思える、最適な環境になることを願っています。
- ・小学校での外国語教育についての意見です。6校小学校がある中で、日本人英語加配教員が1人で全校指導する体制を検討してほしいです。本来担任とALTが英語を指導し、日本人英語教師はあくまでも補助とは言っても、現場でそのように整っているところは少ないです。日本人英語教師とALTで授業を行なっているのが現状です。小学校の英語教育をどのように行なっていくかの方針にもよるとは思いますが、日本人英語教師を増員し、負担を減らしていかないと、この仕事を希望する人は少なくなっていくと思います。
- 予算が限られている中で、子供たちのために何をするのがいいのか幅広い議論が必要。

#### 【東二小】

- 現在の児童数では少なすぎて、学習や人間関係において広がっていかないのが残念です。
- 統合する事は、この人数から考えて必然だと思います。
  - ・学校以外(学校を介さない)の教育、児童福祉の充実。
- 児童数については、多ければ良い、少ないのは寂しい、と単純には言えないと思います。人数が多いほど教師の指導が行き届かないし、教師のゆとりも減りますし。ただ気になっているのは、大人たちだけで考えていて子供たちの声を聞いていないことです。子供たちの声って、聞く必要はないものなのではないでしょうか・・・。
- 小学校は子供の数が減って行き、小規模の学校が6つもあるのは、お金の上でももったいない。これからは世界を相手に活躍する時代。コミュニケーション能力が大切と言われている。子供は子供の中で育つもの。コミュニケーション能力を育てるためにもクラスに男子1名はあり得ない。是非、早期の統合をして欲しい。

### 【南 小】

- 子供たち同士の関わりを通して、心身の成長のため、複数学級の早期実現を希望します。
- 少人数過ぎると人間関係で苦勞してしまう児童が出てくると思う。また、体育の授業などでチーム分けが難しい。最低でも 20 人くらいの人数がいた方がいい。
  - ・ ICT 教育の発展の為に成績処理などの実務を機器化が進めばより児童の指導に費やす時間が増えるのではと考えます。
- 子どもに寄り添って学びあう。

### 【西 小】

- 町内の小学校の児童数が少なくなっている為、町内の小学校を 1 つに統合し、小中の連携が取れる、新形態の学校を設立していただきたいです。小学校統合については、様々な問題が生じるかと思いますがご検討よろしく願いいたします。
- 単級で 6 年間小学校生活を過ごすと、活躍する児童が毎年同じで限られてしまう印象です。学級数を増やし、さまざまな友達との交流を多くしてほしいと考えています。

### 【北 小】

- 吉見町に勤務して 2 年目を迎えています。吉見の子どもたちの良さをたくさん発見する毎日です。また、吉見の自然環境や地域に支えられた教育環境の素晴らしさも、コロナ禍ではありますが、味わっています。しかしながら、設備、教材教具等が適切に配置されておらず、子どもたちに不利益が生じていることも少なからず感じております。このような調査研究は大変ありがたく、引き続き行っていただき、吉見の教育のさらなる発展を期待しております。一担任として、個人でも研究と修養に努め、子どもと共に成長して行きたいと思っております。
- 地域と密接に関わり合い、様々な教育活動を熱心に取り組んでいる吉見町の職員でいられることを誇りに思います。また一、職員にまでこうして意見を聞いてくださりありがとうございます。学級人数についてですが、正確に言うとアンケート項目にはない、15～25 人あたりが最適だなと思っております。吉見独自のいちごノートや漢検もそうですが、地域との関わりにおいても吉見ならではの学習を、今後も大切にしていきたいです。
- 学習塾と異なり、人間関係や生き方等についても学べる場所だと認識しています。新しい備品が入っても、施設そのものの傷みが目立つような印象です。充実した活動を安全に取り組める環境であれ、と願っています。
- 学校の教具等含めて学習環境の整備をお願いします。

### 【西が丘小】

- クラス編成がないまま卒業を迎えることは多くの友達に触れ合う機会が少ない

- ・事務用品・補助簿等の購入を教員の自己負担から除いてほしい
- 学校にも多様化が求められている中で、子どもたちにとっても多様な人々や考え方と出会う経験は大変貴重だと思います。また、教職員も伝え合う、学び合う機会が増えるのは、子どもに還元できると考えます。(複数学級の場合)
- ・特にありません。教育環境は良い方だと思います。
- ・ネットやワイファイが突然つながらなくなるのをやめてほしい。
- ・指導力向上のために指導内容のデータベースがありますと指導の参考にしやすいと思います。

### 【吉見中】

- 人間関係をつくる、多様な考え方に触れる、協調性を養う、様々な役割で責任感を育てる、もし仮にうまくいかないと同じクラスでも1年経てば別々になり新たな気持ちでスタートできるなどを考えると複数学級が望ましいと考える。また、1クラスの人数は20人程度だとちょうどいいのではないかと。
- 町内各小学校の児童減少を考えると、川島町同様、統廃合する時期にきているように思います。少人数なら教師の目も手も行き届きますが、子供たち同士の関わり合いは減り、集団教育の効果が半減していると感じます。
- 少子化に伴い、いずれは小学校1校が望ましいと思います。フレサ吉見周辺に新校舎が建設できれば、教育施設が集中でき、環境が整うと思います。将来、小中一貫を視野に入れて検討しては、どうでしょうか。
- 少人数学級で一人一人にきめ細やかな指導を行えるといい。
- 単級の学年ができることは避けた方がよい。
  - ・教員の負担を減らす。余裕がない現場は良いものが生まれにくい。質を高めたいなら質を高める時間を、クリエイティブな発想を求めるなら考える時間を。新しいことを始めるなら今あるものの精査を。コップに水を入れ続けたらどうなるか考えて下さい。我々は人間です。限界があることを理解して下さい。
  - ・教員がクラスに行き授業をするのではなく、教員1人ずつに授業する部屋を用意して生徒たちが受けに来るようなスタイルにしてほしい。あのクラスに行ったら今度はこのクラス、タブレットに接続用のコードなどさまざまなものを持って10分以内に移動というのは難しく、トイレに行く時間もない。教員は自分の教室で生徒たちを待ち授業をする。ホームルームはしない。授業だけを教える。部活もしない。それが教員の本来の働き方だと思う。校則を全て無しにして一から生徒が作った方がいいのではないかと。日本は民主主義国家なのだから学校も民主主義的であるべきだ。生徒が発案し、生徒が決める、教員はそれをサポートする程度でいい。
- 小中一貫教育の推進はメリットも多く、学力向上に効果的であると思います。
  - ・ICTの設備を充実させて欲しいです。例えば各教室にプロジェクターとスクリーンを完備することや、電子黒板の設置などがあるとより充実したICT教育ができるかと思っています。